

# 建設の機械化

## 1999.1

No.587



### 準特集 変革期に挑む建設事業

- ◆巻頭言 新春を迎えて……………長尾 満 1
- 激動する経済社会と建設事業……………一瀬 益夫 3
- 日本版 PFI の導入に向けて……………大島 邦彦 8
- コスト縮減に向けて……………石松 豊・桐部 仁志 14
- 新技術開発・普及の現状と課題……………野村 正之 18
- 異分野技術の建設技術への導入方策  
—「異分野技術研究会」の検討結果について—……………桐部 仁志 23
- 開発技術の実施例—矩形・揺動シールドの開発—  
……………尾上 順吉・池添 勝次 28
- 環境保全に配慮した解体工事  
—都心部における火力発電所の解体工事—……………安 光男 34
- 新しい教育訓練を目指す富士教育訓練センター……………三輪 洋二 42
- 技術・技能者育成—施工能力の向上を目指す教育訓練  
—建設機械オペレータの育成—  
……………渡邊 武明・宇田川 章・沖田 芳一 47

グラビア—夢をつなごう 来世紀へ

### ◆部会報告 油圧ショベルの多機能化と豊富なアタッチメントの紹介 (その3)

- トンネル・地下鉄工事, 港湾工事—……………機械部会 51



◆ずいそう 「水」に思う……………	松谷真二	54
◆ずいそう 満足度について……………	古谷錬太郎	56
◆新工法 03-126 建設発生土を有効利用した埋戻し土の先打ち工法(フジタ)/04-169 ハニカムセグメントを用いた同時施工法(奥村組)/04-170 気泡削孔工法(大林組)/04-171 NARAI掘削システム(建設省関東地方建設局・先端建設技術センター)……………	調査部会	58
◆新機種紹介……………	調査部会	62
◆文献紹介 小型軽量で生産性があるホイローダの事例/ Hamm社のDOS4システムを導入したRaco550……………	文献調査委員会	67
◆統計 建設関連統計/建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………	調査部会	69
◆お知らせ 低騒音型建設機械の指定について……………		71
行事一覧……………		74
編集委員会の紹介……………		77
編集後記……………(成田・磯部・白川)		78

◇表紙写真説明◇

TCM JD 19形 除雪ドーザ  
(19t級、折りたたみ式サイドス  
ライドアングリングプラウ付き)

東洋運搬機株式会社

本機は、大きなけん引力と作業速度を有し、一般道路除雪から条件の酷しい山間道路除雪まで幅広く活躍している大形の除雪ドーザである。

プラウを左側に1mサイドスライドすることによって、機体を路側に寄せることなしに安全に、拡幅排雪あるいはかき込み除雪が可能である。今般、回送時などの交通安全性を考慮して、通常のプラウ長さ3.8mを車体幅と同じ2.7mに運転室からの操

作で折りたたみ出来るようにした。これによりトンネル内、橋梁部など道路幅に制限のある箇所においても、一般交通の支障になることなしに効率の良い作業が期待出来る。

<本機の主な仕様>

標準除雪幅(30度アングリング時)	3,290 mm
サイドスライド量 (左)1,000 mm, (右)300 mm	
左右チルト角度(左右各)	4度
前後ピッチ角度	(前)15度, (後)25度
走行速度(前進最高)	39 km/h
最小回転半径(プラウ折りたたみ時・最外側)	6.8 m
全長×全幅×全高(プラウ折りたたみ時・走行姿勢)	8,760×2,710×3,595 mm
除雪自動車総質量(乗車定員2人含む)	19,060 kg